



【巻頭言】

生命の交流

<大坂の高校生>虫に触れない 6 割

園長 野田大燈

先月号では「火が扱えない子供たち」の新聞記事を元に学園の取り組みを紹介させていただきましたが、都市化のために子供たちが自然から更に遠ざかって行って不自然な生活を余儀なくされています。

しかし周囲の環境が不自然のために不自然とは感じなくなって、それが「自然」だと思っ
てはいるが、心身が拒否反応を起こして様々な疾病を呈しているのが現状だと思います。

「<大阪の高校生>ムシに触れない 6 割。25 年で倍増」と言う記事が毎日新聞に掲載されました。

大阪府内の高校生に「昆虫素手で触れることができるか」と質問したところ「できる」と回答した生徒が 4 割に留まり、約 25 年前の 7 割から大幅に減ったことが分かったそうです。

「カエルに触れることが出来ると回答したのは 38 割」「へびに触れることが出来る、は 23 割」だったそうです。

都市化で幼少期に昆虫に触れる機会が減ったことを背景に、虫に嫌悪感を抱く子供が多くなったと研究会では分析。

調査を担当した教諭は「虫嫌いの生徒が増え

ているのは全国的な傾向とみられる。親の世代も虫嫌いが増え、子供に昆虫採集などをさせない親が増えているのではないかと指摘したうえで、『このままでは、害虫を退治することも出来なくなってしまう』と危惧している。とか。「生き物に触れることは科学的興味や生命への慈しみを高めることに繋がっている、重要性を認識してほしい」と大阪府高等学校生物教育無研究会が呼びかけているそうです。

夏休みの宿題に虫の標本作りが定番の時代に育った団塊の世代人は、ムシ取網と昆虫かごを持って野山を駆けるのは当然でした。

そして捕えた昆虫に持参の容器から注射器を取り出して防腐剤を注入する学者肌の仲間もいました。

彼はきっと医者か科学者になったような気分だったでしょう。

若竹学園の園生たちは、自然発生的にトカゲやへびを捕獲しては飼育箱に入れて餌を与え、大切に育てています。

「園長、これ見てよ。」と指差す彼の胸元に、トカゲの子供がブローチのようにくっついていました。

「このトカゲは A 君と意思疎通ができているのだ！」と感じました。

「園長、トカゲの子供が死んでしまった。お経をあげてよ」と真顔で依頼されたことが数度ありました。

児童心理治療施設の若竹学園には、『大自然』と言う偉大な医師がいます。 一了一

若竹学園夏祭りご案内

7 月 1 2 日 (土) 17 時～19 時、若竹学園園庭に於きまして、夏祭りを開催します。園生は 6 月から準備にかかっており、看板作りなどに一生懸命取り組んでいます！それぞれの子ども個性が出たデザインになっています(*^_^*)。

日頃お世話になっている方々に感謝をお伝えしたいと、中学校 3 年生を筆頭に、園生一丸となって準備を進めています。

園生、職員一同お待ちしておりますので是非ご来園ください。

お待ちしております!!!



ソラマメ収穫!

丹精込めて育ててきたソラマメがついに収穫の時期を迎えました。今年は豊作となり、たくさん収穫することが出来ました。

ソラマメを見たことがない子どももおり、「何この大きなエンドウマメ。」と驚いている場面もありました (笑)。



残念ながら味は人気がないようで「なにこのマメ・・・変な味。」と評価はイマイチ。ソラマメの味が

分かるのはもっと大人になってからかもしれないですね。

峰山公園で運動

梅雨に入り、雨ふりが多かったですが、6 月 15 日 (日) は快晴でした。ばてやすい時期であるため、体力作りも兼ねて峰山公園にて運動をしに行きました。

サッカーやキャッチボールなど思い思いの遊びをして楽しみました。特に人気



だったのが巨大なスベリダイで子どもの中には 5 回も 6 回も乗っている子もいました。

この時期は昼と夜の気温の差があったり、ジメジメ蒸し暑かったりと過ごしにくい季節です。だからこそ、たくさん体を動かして丈夫な体作りをしていこうと思います。



長い長いスベリ台があります!(^^)!

見よ!! 必殺シュート!!!!



遊具もあって楽しかったです!

若竹学級だより

修学旅行に行ってきました

6月5日(木)6日(金)の一泊二日にわたり、学校生活最大のイベントである修学旅行として京阪神方面へ行ってきました。

インスタントラーメン発明記念館

まず、最初に訪れたインスタントラーメン発明記念館では、世界でたった一つだけのオリジナル麺を作りました。カップの外側にも文字や絵をレイアウトして個性を輝かせていました。

帰園後に食べた出来たてのカップ麺は、今までに食べた中で最もおいしかったそうです。



トロッコ列車で保津峡下り

昼食後、京都府へ移動し、保津峡に沿って走るトロッコ列車に乗車しました。

学園生は、普段の生活では、列車に乗ることもあまりありません。しかも、トロッコには窓がないので、手を伸ばせば、すぐそこにある木の枝や葉に届きそうです。いくつかあるトンネルに入るとレールの音と学園生の歓声が入り交じり、みんな笑顔でした。



絵付け体験活動

トロッコ列車でストレスを発散した後は、嵐山で絵付け体験をしました。

お手本を見ながら下書きをし、それに色を着けていくと、これまた世界にたった一つだけのお椀の出来上がり。



自分が絵付けをしたお椀でご飯を食べるときっとおいしいのでしょうね。

金閣寺・清水寺・平等院鳳凰堂

京都での修学旅行といえば定番の金閣寺と清水寺、そして、平等院。学園生が時間通りに行動したおかげで、金閣寺は初日の夕方、清水寺と平等院は2日目の午前中、いずれもスムーズに見学することができました。



荘厳で勇壮な建築物を見て、驚くとともに、当時の人々の暮らしを想像したのではないのでしょうか。

なんばグランド花月で笑い転げる

普段はテレビの画面で見かけるタレントや役者さんがすぐ目の前にいます。

ハリセンボンの軽妙なボケとつつこみや台本通りに進まないウィットに富んだ漫才に、学園生は腹を抱えて笑いしました。こんなに笑ったのはいつ以来かな?とふと考えるほどでした。



時を守り 場を清め 礼を尽くした学園生

時間を守ること、出された食事を残さずおいしくいただくこと、お世話になった方々にあいさつをすること、それらは集団行動の基本です。

2日間、学園生と寝食をともにして、学園生活で身につけたことを修学旅行でも発揮できたことをとてもうれしく思いました。



平成25年度会計報告

平成25年4月1日から平成26年3月31日 (単位:円)

勘定科目	決算額
利用料収入	2,209,189
措置費収入	294,449,596
子育て短期支援事業収入	334,100
経常経費補助金収入	1,219,600
寄付金収入	388,962
雑収入	4,103,944
国庫補助金等特別積立金取崩額	9,019,810
事業活動収入計①	311,725,201
人件費支出	180,660,607
事務費支出	37,112,581
事業費支出	53,264,003
減価償却費	15,486,097
引当金繰入	1,561,605
事業活動支出計②	288,084,893
事業活動収支差額③(①-②)	23,640,308
事業活動外収入計④	8,422,000
事業活動外支出計⑤	8,430,375
事業活動外収支差額⑥(④-⑤)	-8,375
経常収支差額⑦(③+⑥)	23,631,933
特別収入計⑧	1,623,000
特別支出計⑨	90,885
特別収支差額⑩(⑧-⑨)	1,532,115
当期活動収支差額合計⑪(⑦+⑩)	25,164,048
前期繰越活動収支差額⑫	103,352,049
当期末繰越活動収支差額⑬(⑪+⑫)	128,516,097
その他の積立金取崩額⑭	0
その他の積立金積立額⑮	58,000,000
次期繰越活動収支差額⑯(⑬+⑭-⑮)	70,516,097

平成25年度 貸借対照表

平成26年3月31日現在 (単位:円)

資産の部	
流動資産	65,602,165
基本財産	225,346,030
その他の固定資産	336,249,619
資産の部計	627,197,814
負債の部	
流動負債	17,894,188
固定負債	5,025,033
負債の部計	22,919,221
純資産の部	
基本金	94,986,310
国庫補助金等特別積立金	137,384,386
その他の積立金	301,391,800
次期繰越活動収支差額	70,516,097
純資産の部計	604,278,593
負債及び純資産の部合計	627,197,814

平成25年度苦情・要望報告

1. 受付件数 総数 0 件 (内訳: 苦情 0 件・要望 0 件)
2. 受付方法 苦情ボックスを若竹学園玄関に設置
3. 苦情申し出人 利用者 0 名
4. 内容
 - (ア) 職員の接遇に関すること 0 件
 - (イ) サービスの質や量 0 件
 - (ウ) 被害・損害に関すること 0 件
 - (エ) その他 0 件

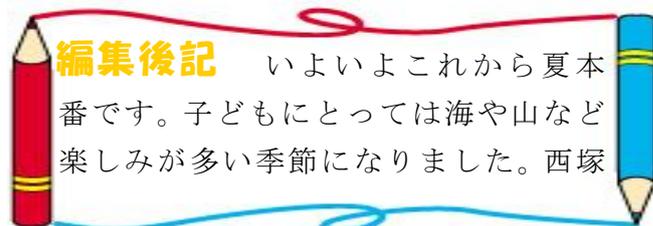
今後も支援の向上に努めてまいります。



- 3 日 すわらじ観劇
- 4 - 5 日 修学旅行
- 9 日 福祉体験
- 17 日 ゴスペル講演
- 21 日 香川県 3 種別スポーツ大会
- 28 日 さらスポーツ (地引網体験)

~御寄附ありがとうございました~

加藤寿子 様 自転車
白井恭明 様 流し台 1 式



編集後記 いよいよこれから夏本番です。子どもにとっては海や山など楽しみが多い季節になりました。西塚

第 245 号発行

〒761-8004 香川県高松市中山町 1501-192

T E L 087-882-1000 F A X 087-882-1160

ホームページ <http://netwave.or.jp/~wakatake/>

Eメール wakatake@mail.netwave.or.jp

編集兼発行者 若竹学園 編集委員

発行責任者 野田 大燈